

## 地域包括ケアネットワーク No.6

### 地域包括ケアネットワークについて

津山市医師会 平井 龍三

津山市医師会での地域包括ケアネットワークへの取り組みは平成25年、岡山県在宅医療連携拠点事業主体を受け入れた時に始まりました。それまでは薄元副会長他を中心に津山市地域医療ミーティング研究会など津山市地域包括と連携した個別事業が行われておりましたが、医師会全員を取り込んだ事業とまではなっていませんでした。

平成25年度事業目的としては『津山市民が疾病や障害を抱えてもできる限り住み慣れた生活の場において必要な医療・介護サービスを受けられ、安心して自分らしい生活ができる環境づくりを目指す』とされました。その後在宅医療に関する会員開業医や病院医師、訪問看護師、薬剤師、ケアマネージャーなど多職種の代表者会議を置き、その下に連携を行う人材育成と一般住民への普及啓発などを行う研修部会、津山圏域内で訪問診療を行っている医療機関や介護保険系施設などを全て調査し今後どのような在宅療養が可能かを調査する社会資源調査部会、それぞれの施設で共通言語となるツールを検討する情報共有システム検討部会の3つの委員会において松尾会長、薄元副会長を中心にシステム作りを行っております。

津山市は総人口約10万人ですが、65歳以上の高齢化率は約30%以上、医師会員数は約200名、病院数8、診療所は約40カ所ですが現在訪問診療に対応される医療機関は約30カ所となっていました。

この事業を行っていて気づいたことは、以前のような開業医の外来で療養を続けてきていた患者様がそのまま在宅に移行するというパターンは、現在ではほとんどなくなり、疾病を発症して入院、状態安定し帰宅したが通院が不可能であるため訪問診療に移行される方と自宅での看取りを希望されて在宅療養を開始される患者様のみでした。しかし通院が出来ないくらいの障害を負った患者様の多くは自宅復帰が出来ず、施設での療養を選ばれています。このため訪問診療を受けている患者様は津山市全体では以前より大分減っており、医療機関からの調査による現有の訪問診療対応可能人数を下まわっていると思われます。患者様負担の保険診療料の関係もありますが、退院後の患者様を安心して自宅での療養に切り替えていただく事ができるようにしたいと思っております。

有り難いことに在宅医療を受けている患者様の状態悪化時はいつでも入院を引き受けてくださると中核の津山中央病院、中島病院他の病院の理解も得られております。更に歯科医師会も訪問歯科診療に積極的に取り組まれています。

また津山市役所でも『津山版(実践的)地域包括ケアシステム』が議論されており、これは生活の扶助が中心となっていますので、うまく連携できれば在宅療養がさらに良いものになるように期待されております。

以上簡単に津山市での現況を報告いたしました。